

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部	
	17005	西野公園改修事業(公園施設)	課名	都市整備課 都市計画G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進		款	08:土木費
	施策の方向	04:公園・緑地の整備・利活用		項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	01:「健都さぷり」プロジェクト	目		03:公園整備事業費	
事業予定期間	H 29 ~ R 3 年度	主な根拠法令要綱等	都市公園法		

② 目的・概要	対象	公園利用者
	目的	令和3年に開催される第76回国民体育大会(三重とこわか国体)に向け、西野公園施設の改修を行い、円滑な大会運営ができる環境を整備するとともに、公園利用者の利便性の向上を図る。
概要	便所改築、公共下水道接続、外周柵更新、東屋改築、藤棚更新、体育館前の植栽植替え・ベンチ設置、中央広場修繕、周遊遠路の舗装・照明設置	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○便所改築(1箇所) <ul style="list-style-type: none"> ・工事、監理委託 ○公共下水道接続工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○便所改築(1箇所) <ul style="list-style-type: none"> ・工事、監理委託 ○外周柵更新工事 ○東屋改築工事(1箇所) ○藤棚更新工事(1箇所) ○植栽植替え更新工事(体育館前) ○ベンチ設置工事(体育館前) 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央広場修繕工事 ○周遊園路工事 <ul style="list-style-type: none"> ・舗装工事、照明設置工事 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○便所改築(1箇所) <ul style="list-style-type: none"> ・工事、管理委託 ○公共下水道接続工事 	<ul style="list-style-type: none"> ○便所改築(1箇所) <ul style="list-style-type: none"> ・工事、監理委託 ○外周柵更新工事 ○植栽植替え更新工事(体育館前) 	<ul style="list-style-type: none"> ○中央広場修繕工事 ○周遊園路工事 ○外周柵更新工事 ○東屋改築工事 <ul style="list-style-type: none"> ・工事、設計 	
事業額	計画額	事業費	48,000千円	42,000千円	32,000千円
		国庫支出金	9,000千円	18,500千円	11,500千円
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	39,000千円	23,500千円	20,500千円	
	予算額	事業費	51,369千円	29,000千円	27,977千円
		国庫支出金	11,185千円	14,000千円	13,086千円
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	40,184千円	15,000千円	14,891千円	
決算額	事業費 ①	49,820千円	28,946千円	27,977千円	
	国庫支出金	11,185千円	14,000千円	13,086千円	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源	38,635千円	14,946千円	14,891千円		
人件費	総人件費 ②	3,140千円	2,371千円	2,371千円	
	一般職員	3,140千円	2,371千円	2,371千円	
	所要人員	0.40	0.30	0.30	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		52,960千円	31,317千円	30,348千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度
④ 指標	①	名称	便所改築工事	計画値	1	1
				実績値	1	1
				単位	箇所	箇所
	②	名称	外周柵更新工事	計画値		1
				実績値		1
				単位		式
	③	名称	周遊園路工事	計画値		1
				実績値		1
				単位		式

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 老朽化の著しい公園施設について、利便性に配慮し計画的に整備を進めるため、交付金事業である公園施設長寿命化策定事業における事業採択可能な改修施設を選定するとともに、財源の確保に努める。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 老朽化状況を確認し、事業採択可能な改修施設の選定を行ったとともに、交付金事業に伴う交付金の確保に向け、国や県等と協議を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 公園利用者の利便性確保に向け、東屋や外周柵、園路等の工事を計画的に実施した。なお、一部施設については、利用者の利便性確保を図るため工程調整を実施したことから繰越となったが、年度計画にあわせて改修工事を実施することができた。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 三重とこわか国体は中止となったが、大会開催に向けた環境整備を適宜実施したことで、公園利用者の利便性と安全性確保が図られた。	A 十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 西野公園以外にも公園施設長寿命化計画において改修が必要である施設があることから、計画的に改修工事を実施するとともに、交付金等の財源確保を図る必要がある。	次期実施計画への方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（拡大） <input type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 公園施設長寿命化計画において改修が必要な施設について、緊急度等を整理し改修施設の計画を適宜整理するとともに、国等に対し早期改修の必要性等を説明し、交付金の確保に努めていく。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 利用者の多い総合公園及び地区公園における利用者の利便性向上と安全性の確保が図られる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	建設部 都市整備課 都市計画グループリーダー 黒田 康史
【最終評価者】	建設部 都市整備課長 藤尾 春樹

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A	A	A	A
	成果	B	A	A	A	A

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		27,977 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	5,000 千円
	令和3年度の最終予算額	29,000 千円
	令和4年度への繰越額	▲6,023 千円